



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月4日

上場会社名 ニッパツ(日本発条株式会社)  
 コード番号 5991 URL <https://www.nhkspg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茅本 隆司  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部IR・広報部部长 (氏名) 橘 和子  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 045-786-7513

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	155,036	9.4	5,962	3.3	12,381	43.8	8,591	52.8
2022年3月期第1四半期	141,662		6,164		8,611		5,621	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 16,599百万円 (12.4%) 2022年3月期第1四半期 14,765百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	37.68	
2022年3月期第1四半期	24.65	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	596,065	351,932	56.2
2022年3月期	588,091	338,847	54.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 334,851百万円 2022年3月期 322,614百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		12.00		15.00	27.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		15.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期の期末の配当金額は未定であります。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	308,000	10.4	15,700	52.5	16,700	23.3	10,000	18.8	43.86
通期	635,000	8.2	38,000	77.9	40,000	30.4	24,000	25.0	105.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	244,066,144 株	2022年3月期	244,066,144 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	16,048,274 株	2022年3月期	16,048,264 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	228,017,873 株	2022年3月期1Q	228,018,881 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料] P 3 . 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(参考情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、景気が持ち直し傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症、半導体の需給逼迫及び各種資材の価格高騰の影響、ロシアのウクライナ侵攻等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連市場においては、国内の自動車生産台数は1,616千台で前年同期比12.0%の減少となったものの、北米（米国・カナダ）においては2,860千台で前年同期比18.1%の増加、中国では6,510千台で前年同期比12.3%の増加、タイでは473千台で前年同期比21.0%の増加となりました（いずれも台数は各拠点の決算期に応じた集計）。

もう一方の主要な事業分野であります情報通信関連市場につきましては、HDD（ハードディスクドライブ）の世界生産台数が前年同期比で減少し、当社の主力製品でありますサスペンションの総需要は減少となりました。

以上のような経営環境のもと、売上高は155,036百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は5,962百万円（前年同期比3.3%減）、為替差益の増加等により経常利益は12,381百万円（前年同期比43.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,591百万円（前年同期比52.8%増）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

## [懸架ばね事業]

懸架ばね事業は、半導体供給不足等による自動車メーカーの生産調整の影響はあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響からの持ち直しの動きが見られ、売上高は31,605百万円（前年同期比10.8%増）となった一方、原材料価格や物流コストの高騰の影響が大きく、営業損失は1,265百万円（前年同期は営業利益400百万円）となりました。

## [シート事業]

シート事業は、半導体供給不足等による自動車メーカーの生産調整、原材料価格や物流コストの高騰の影響はあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響からの持ち直しの動きが見られ、売上高は57,568百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は215百万円（前年同期は営業損失100百万円）となりました。

## [精密部品事業]

精密部品事業は、自動車関連事業においては、懸架ばね事業、シート事業と同じく半導体供給不足等による影響、及び原材料価格や物流コストの高騰の影響を受けました。情報通信関連事業においては、HDD用サスペンションの数量が減少したものの、為替が円安に推移した影響により、売上高は39,456百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は4,200百万円（前年同期比27.2%増）となりました。

## [産業機器ほか事業]

産業機器ほか事業は、自動車関連事業において新型コロナウイルス感染症拡大の影響から持ち直しの動きが見られていることや、半導体プロセス部品の受注が好調に推移したことにより、売上高は26,405百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は2,811百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産については、配当金の支払及び借入金の返済等により現金及び預金が減少しました。一方で自動車メーカーの生産調整等の影響により棚卸資産が増加したほか、為替が円安に推移したことにより、特に在外子会社の棚卸資産や有形固定資産の円換算額が押し上げられました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ7,974百万円増加し、596,065百万円となりました。

負債については、借入金の返済及び法人税等の支払により、前連結会計年度末に比べ5,111百万円減少し、244,133百万円となりました。

純資産については、為替換算調整勘定及び親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ13,085百万円増加し、351,932百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日公表の業績予想を変更しておりません。

なお、今後の動向により業績に影響を及ぼす場合には、開示基準に従って速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	92,130	87,214
受取手形、売掛金及び契約資産	138,124	138,060
商品及び製品	24,461	26,214
仕掛品	11,487	12,973
原材料及び貯蔵品	27,244	30,143
部分品	10,680	11,177
その他	21,277	22,200
貸倒引当金	△126	△138
流動資産合計	325,279	327,845
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	157,256	160,811
減価償却累計額	△103,227	△105,895
建物及び構築物 (純額)	54,028	54,915
機械装置及び運搬具	283,793	295,182
減価償却累計額	△222,507	△232,043
機械装置及び運搬具 (純額)	61,286	63,139
土地	30,483	30,968
リース資産	1,337	1,298
減価償却累計額	△818	△835
リース資産 (純額)	518	462
建設仮勘定	10,275	10,528
その他	84,040	88,374
減価償却累計額	△74,415	△78,482
その他 (純額)	9,624	9,892
有形固定資産合計	166,217	169,907
無形固定資産	3,034	3,584
投資その他の資産		
投資有価証券	58,703	58,316
長期貸付金	1,670	1,710
繰延税金資産	10,050	10,445
退職給付に係る資産	13,199	13,911
その他	10,839	11,314
貸倒引当金	△904	△970
投資その他の資産合計	93,559	94,728
固定資産合計	262,811	268,219
資産合計	588,091	596,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	80,027	84,617
電子記録債務	31,162	30,825
短期借入金	28,672	19,797
未払法人税等	12,652	4,601
役員賞与引当金	247	137
設備関係支払手形	2,281	2,159
その他	32,281	38,566
流動負債合計	187,325	180,705
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	11,110	10,830
リース債務	721	870
繰延税金負債	12,712	12,977
退職給付に係る負債	22,262	23,699
役員退職慰労引当金	614	557
執行役員退職慰労引当金	843	927
その他	3,654	3,566
固定負債合計	61,919	63,427
負債合計	249,244	244,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,009	17,009
資本剰余金	19,679	19,679
利益剰余金	260,692	265,863
自己株式	△14,296	△14,296
株主資本合計	283,085	288,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,292	24,544
為替換算調整勘定	11,592	19,365
退職給付に係る調整累計額	2,644	2,684
その他の包括利益累計額合計	39,529	46,594
非支配株主持分	16,232	17,081
純資産合計	338,847	351,932
負債純資産合計	588,091	596,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	141,662	155,036
売上原価	123,611	136,597
売上総利益	18,050	18,439
販売費及び一般管理費	11,886	12,476
営業利益	6,164	5,962
営業外収益		
受取利息	112	131
受取配当金	764	1,256
持分法による投資利益	354	83
為替差益	876	5,144
その他	801	448
営業外収益合計	2,909	7,064
営業外費用		
支払利息	77	84
その他	385	561
営業外費用合計	462	646
経常利益	8,611	12,381
税金等調整前四半期純利益	8,611	12,381
法人税等	2,551	3,390
四半期純利益	6,059	8,990
非支配株主に帰属する四半期純利益	438	399
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,621	8,591



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	6,059	8,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,781	△749
為替換算調整勘定	4,744	7,469
退職給付に係る調整額	1	37
持分法適用会社に対する持分相当額	179	850
その他の包括利益合計	8,706	7,608
四半期包括利益	14,765	16,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,943	15,656
非支配株主に係る四半期包括利益	821	943

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(米国会計基準Topic842の適用)

米国関係会社において「リース」(米国会計基準Topic842)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

米国会計基準Topic842の適用により、借手のリースは、原則として全てのリースを資産及び負債として認識しております。米国会計基準Topic842の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における固定資産の無形固定資産は421百万円増加し、流動負債のその他は257百万円増加、固定負債のリース債務は162百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,529	52,332	36,870	23,929	141,662	—	141,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	406	46	367	2,453	3,273	△3,273	—
計	28,935	52,379	37,237	26,382	144,935	△3,273	141,662
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	400	△100	3,302	2,562	6,164	—	6,164

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額3,273百万円はセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しており、調整額はございません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,605	57,568	39,456	26,405	155,036	—	155,036
セグメント間の内部 売上高又は振替高	427	52	337	2,709	3,526	△3,526	—
計	32,033	57,620	39,794	29,114	158,563	△3,526	155,036
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△1,265	215	4,200	2,811	5,962	—	5,962

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額3,526百万円はセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しており、調整額はございません。

(参考情報)

## 【所在地別セグメント情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米欧ほか	計	消去又は 全社	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	79,729	42,925	19,007	141,662	—	141,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,123	925	132	8,181	△8,181	—
計	86,852	43,850	19,140	149,843	△8,181	141,662
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	4,351	3,594	△1,781	6,164	—	6,164

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド  
 (2) 米欧ほか・・・アメリカ・メキシコ・オランダ・ハンガリー

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米欧ほか	計	消去又は 全社	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	82,516	48,170	24,349	155,036	—	155,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,634	996	402	10,033	△10,033	—
計	91,150	49,166	24,752	165,069	△10,033	155,036
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	3,669	3,938	△1,644	5,962	—	5,962

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド  
 (2) 米欧ほか・・・アメリカ・メキシコ・オランダ・ハンガリー